

鹿食害対策一体型植生基材マット クサマモールⅡ型



適用土質	砂質土	粘質土	礫質土	岩塊 玉石※	軟岩Ⅰ		軟岩Ⅱ
	●	●	●	●	A	B	



鹿食害対策ネットの役割

密部		密部の中に植物を生育させ、鹿の食害を守るエリア
疎部		疎部からは植物を通芽させ、鹿に食べられてもよいエリア



標準規格

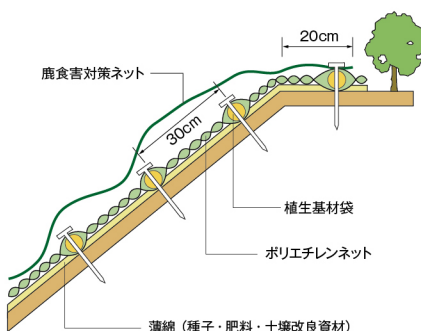
製 品 名	製 品 規 格			鹿 食 害 対 策 ネ ッ ト					1 袋 入 数
	幅	長さ	植生基材袋 間隔	幅 広げた状態	素 材	色	遮光率		
							疎部	密部	
クサマモールⅡ型	1m	10m	30cm	1.5m	高密度ポリエチレン	ディープグリーン	12%	25%	10m ²

施工手順

- ①のり面の雑草木、浮土砂、浮石などを除去し、マットが密着するよう清掃を行う。
- ②のり肩部を20cm程度巻き込み、薄綿の付いている面をのり面に密着するように展開する。鹿食害対策ネットの黒ロープをマットの中央部に移動設置する。
- ③のり肩部・のり尻部・つなぎ部は、鹿の口が入らないよう食害対策用ネットを巻き込む。
- ④マットは、左右の重ね幅は2cm程度、上下の重ね幅は10cm程度とし、植生基材袋を等高線状に展開する。
- ⑤食害対策用ネットをたるませた状態で所定本数のリングアンカーを規定の間隔・箇所打ち込み密着させる。

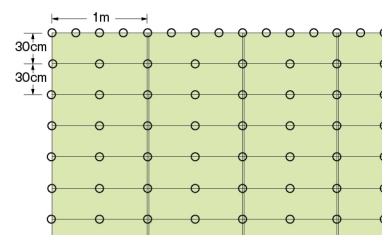
注1) 降雨・強風時の施工は避けてください。
2) 日陰で風通しのよい乾燥した場所に保管してください。

標準断面図



標準打設図

○ リングアンカー (φ7 L=200)
— 植生基材袋



100m ² 当たりの本数 (10×10m)	
○ φ7 L=200	754本

リングアンカー規格、打込み位置については標準として示しておりますので、現地条件に合わせて適宜対応してください。